

TASHIRO

# NEWS LETTER 67

発行 田代稚恵美ピアノ教室

## 目次

- 1頁 ピティナピアノコンペティション
- 2頁 ピティナコンペ参加者の素顔
- 3頁 コンペティションを通して  
ちば音楽コンクール  
グレンツェンピアノコンクール
- 4頁 ステップ 編集後記

## 第35回 ピティナ ピアノコンペティ ション 2011



教室玄関のコンペ速報



未曾有の東日本大震災の影響で、今年の各コンクールは例年通り行われるのだろうかと不安を感じながら、教室の子どもたちやお母さま方の目の輝きに後押しされて、準備に取りかかりました。

今年は、ピティナピアノコンペティションに3名、ちば音楽コンクールに3名、グレンツェンピアノコンクールに3名が挑戦しました。

ピティナピアノコンペティションでは今回、今までと違う方法を取りました。一つは、藤田 尚先生（東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学院修了、当教室の16th piano concert に特別出演、御木本式フィンガートレーニング、ポディマッピングなど長年研鑽）に私のレッスンと並行して教えて頂いたこと。もう一つは、初めて飛び級をしたことです。

佐藤輝季くん（小2）、上田萌莉ちゃん（小3）、櫻井望登ちゃん（小4）が3人ともB級（小4までの部）を受けました。

**全国決勝大会**  
ベスト 賞  
佐藤 輝季 (B級)

**指導者賞**  
田代稚恵美

**全国決勝大会**  
入選  
上田 萌莉 (B級)

**本選**

**本選1位**  
上田 萌莉 (8/2 東日本千葉1 本選 B級)

**本選2位**  
佐藤 輝季 (8/3 東日本 3 本選 B級)

**本選優秀賞** (伊藤楽器賞)  
佐藤 輝季 (8/1 東日本 1 本選 B級)  
櫻井 望登 (8/5 東日本 3 本選 B級)

**本選奨励賞**  
櫻井 望登 (8/9 東日本千葉2 本選 B級)

**予選**

**予選優秀賞** (全員予選通過)  
佐藤 輝季 (6/26 北千住1)  
佐藤 輝季 (7/2 北千住2)  
上田 萌莉 (6/26 木更津)  
上田 萌莉 (7/3 さいたま南)

**ミリオン楽器賞**  
櫻井 望登 (6/18 船橋中期)  
櫻井 望登 (7/16 千葉後期)

**千葉支部賞**

**検定**

**検定優秀賞**  
佐藤 輝季 (7/26 上野III)  
上田 萌莉 (7/26 上野III)  
櫻井 望登 (7/26 上野III)

今年も全員予選通過。それも、上田萌莉ちゃんは副賞ミリオン楽器賞を頂き、予選を1位か2位で通過したことがわかりました。櫻井望登ちゃんも予選1位で千葉支部賞を頂きました。

## 人間力を養うコンペティション

上田萌莉ちゃん（小3）はコンペ初参加。音楽的センスは抜群です。しかし、なんといっても華奢な体つきで、出る音がなかなか安定しませんでした。センスのよさがなかなか点数に結びついて来ない、、予選、本選の直前に、3人集まっの合同レッスンをしました。萌莉ちゃんの曲創りのセンス、輝くんの構築性と安定性、望登ちゃんの音の豊かさ、それぞれの演奏を聴きながら、気がついたところは注意をし合いました。萌莉ちゃんが安定した演奏を見せ始め、2回目の予選では副賞まで頂き、1回目の本選で堂々の一位。以下、会場に駆けつけて下さった藤田尚先生のメールです。

「上田萌莉ちゃん、一位だったそうで、本当に良かったです。今日聴きに行ってきたのですが、完成度&音楽性共にピカイチでした。」

そして全国決勝大会、ステージに登場した萌莉ちゃんにはこやかに微笑みました。緊張感の中、ホールの隅まで届けといわんばかりにのびやかに演奏しました。演奏を聴きながら、私は溢れてくる涙を止められませんでした。



上田 萌莉



佐藤 輝季

佐藤輝季くん（小2）は昨年、一昨年に続いて3回目のコンペ参加でした。前2回はどちらのコンペも全国決勝大会に行っています。ですから今回は飛び級をしてB級を受けることにしました。コンペのための練習、レッスンの厳しさも充分理解している輝くんです。よく考えて参加を決めるように言ってありました。輝くんをまたコンペに向かわせたもの、それはなんだったのでしょうか。

輝くんの参加したいという思いと、日々の練習、曲の創り上げがうまくいってないことはすぐにわかりました。レッスン時間を割いて、輝くんと話をしたことも1度や2度ではありませんでした。悩みながら苦しみながら、それでも予選はいい成績で通過してきました。

その輝くんが闘志を見せた瞬間、それは萌莉ちゃんが先に本選1位を取って全国決勝大会に進出した日でした。次の日は輝くんの2回目の本選でした。輝くんの小さな肩に大きなプレッシャーがかかっているのは明らかでした。それを少しでも楽にしてあげたい。輝くんが自分らしいいい演奏ができるように、、そればかりを思いました。次の日、ステージに出て、ピアノの前で椅子に座った輝くんは長いこと弾き始めなかったそうです。

「今まで先生からされた注意を全部思い出していた。」そして渾身の演奏。

萌莉ちゃんが1位を取った本選の次の日、輝くんは本選2位で、全国決勝大会に進みました。

全国決勝大会でも駆けつけてくれたお友達の前で、堂々と演奏を披露しました。ベスト賞受賞おめでとう！

櫻井望登ちゃん（小4）も初参加。ピティナのコンペでは「4期が学べるコンクール」と名打っているようにバロック、クラシック、ロマン、近現代それぞれの時代より課題曲を1曲ずつ選ばなければなりません。予選曲2曲、本選曲2曲です。通常は、本選曲に力を入れながらレッスンを進めるのですが、望登ちゃんをはじめどうも調子が出なかったこともあり、予選に的を絞ったレッスンを長くしました。その結果、予選は堂々の1位。すぐに本選曲に切り替えて練習に励みました。

1回目の本選で優秀賞。全国まであと一歩です。萌莉ちゃん、輝くんはすでに全国決勝に進んでいました。どれほどのプレッシャーが望登ちゃんにかかっていたことでしょうか。しかし、怖じ気づくことなく、望登ちゃんは真剣に練習していました。なんとかこの子も全国に送ってあげたい、、。そう思ううちに私が発熱。

望登ちゃんの2回目の本選前日でした。その日は気力を振り絞ってレッスンをしました。本選当日、私は不甲斐なくも応援に行けませんでした。輝くんとママ、萌莉ちゃんとママ、藤田尚先生が駆けつけて、望登ちゃんを見守りました。残念ながら、全国には及びませんでしたが、望登ちゃんらしいいい演奏ができたようでした。このコンペを通して、3人が技術的なものはもちろんのこと、人間力を養ったコンペであったことが私の心に残りました。



櫻井 望登



全国決勝大会

藤田尚先生 田代  
櫻井望登ちゃん

全国決勝大会  
応援団と共に

弾き合い会

ホテルニューオータニ  
表彰式にて

**コンペティションを通して**

コンクールの予選、本選が終わると、会場に居合わせた、発表会でスタッフをして下さった村木裕子先生、中前浩子先生をはじめ多くの先生方からメールが届きました。一部をご紹介します。

「田代先生、おはようございます。日曜日に、輝くんの演奏を聴きました。(予選)スケルツォのテンポ、つぶが軽やかで耳に残ってます。感動しました。田代先生の情熱が伝わって参りました。」

毎年室内楽ステップでお世話になっている守谷の日吉先生の教室からも、今年はA1級で駒路勇人くんという生徒さんが全国決勝に進んだそうで、うちの教室と一緒に、全国決勝に向けた弾き合い会をしました。(駒路くんは結局、金賞を受賞しました。)ステップ、発表会、コンペなどを通して活動の幅も広がり、お互いに切磋琢磨する仲間や応援して下さいの方が増えていることも有難いことです。

また、全国決勝大会には、共にコンペを頑張ってきた櫻井望登ちゃんの他、石井美有ちゃん、片岡優花ちゃん、大西和歌ちゃんもお母さまと応援に駆けつけて下さいました。

みなさん、有難うございました!!心強かったです!!  
ホテルニューオータニでの表彰式も全て終了して、佐藤さんから、上田さんからもメールが届きました。それは、ほぼ同じ内容。をご紹介します。

「なかなか先の見えない〇〇に諦めることなくレッスンをしていた先生の忍耐力にどれだけ励まされ、頑張れた事でしょう。。。

また、仲間にも恵まれ、不安で仕方なかった予選や本選で〇〇さん、〇〇さん(教室から共にコンペに参加した方々)の励ましにどれだけ勇気づけられ、救われた事でしょう。

子供達もとても仲が良く、〇〇は2人から良い刺激を受けた事で決勝まで進む事が出来ましたし成長も出来たのだと思います。」

**グレンツェンピアノコンクール**



遠藤 怜奈 小学3、4年Aコース



大西 和歌 小学1、2年Bコース  
須田 敦大 小学5、6年Aコース

グレンツェンピアノコンクールは今回2度目の参加。上記3名が参加し、全員予選通過しました。次は、12月末から1月初めに行われる本選です。頑張りましょう!

敬称略



大西 和歌

遠藤 怜奈

石井 美有

清水 奏子

新田 彩桜



がんばりやさんコンサート



大西和歌ちゃん継続表彰

### ステップ合格 おめでとう！！ 敬称略

#### 北千住ステップ 7/2

稲垣 光希 (基礎1)      稲垣 朱音 (基礎5)  
 大西 和歌 (基礎3)      石山 滯 (応用1)  
 遠藤 怜奈 (基礎4)

#### 東大宮夏季ステップ 7/3      大泉学園ステップ 8/6

佐藤 駿介 (応用2)      小澤里穂野 (発展5)

北千住ステップが足立区の天空ホールにて、東大宮ステップがニコニコ堂 大宮本店 ピエトラにて、大泉学園ステップがゆめりあホールにて開催され、うちの教室から左記の子どもたちが参加しました。

ステップ会場になるホールは一流のホールであることが多く、また、そこのピアノも天空ホールは今回はベビシュタイン、ゆめりあホールはスタインウェイと素晴らしいピアノでした。

上記のステップに7名が参加し、合格しました。稲垣光希くん(小2)、稲垣朱音ちゃん(小4)は初参加でした。大西和歌ちゃん(小2)は継続5回表彰、小澤里穂野(高2)ちゃんは継続20回表彰を受けました。中学生になると勉強、部活、塾と忙しく、途端にピアノの練習時間が減ってしまう子、それまではステップ、コンペなどに参加していたのにブツと参加しなくなる子が多い中、里穂野ちゃんはコツコツとステップ参加を続けてきました。

ステップでは心に残った演奏にメッセージを書いてお渡しするステップコミュニケーションというシステムがあります。しかし、余程、演奏が心に響かないと、メッセージはなかなか頂けるものではありません。里穂野ちゃんは今回コミュニケーションメッセージを頂きました。ご紹介致します。「とても素敵な演奏で聞きほれました。二人の息子がピアノを習っていますが、いつか、小澤さんのように弾いてくれたらステキ・・・と思っています。」また、里穂野ちゃんは帰りのエレベーターで「去年ジブリの曲弾かれましたよね」と声をかけられたそうです。

東大宮夏季ステップに参加した佐藤駿介くん(中3)も、コミュニケーションメッセージを頂きました。

『「しんさいのために天使の声をひきたくなった。」というコメントにかんどうしました。コメントどおり、やさしい気持ちで全力でひいてささげているのがえんそうでよくわかりました。とてもよかったです。えんそうもコメントもとてもよかったです。』音楽は上手下手よりも、人の心に残るか否か、人の心を揺さぶるような演奏ができるかどうかが大したことではないでしょうか。そういう意味で、とても嬉しい出来事でした。

9月4日(日)ドリームKid'sコンサート in Ginza YAMAHAが銀座ヤマハのホールにて開催されます。

第2部(13:00~)に3名が出演しますので是非お出かけ下さい。

#### 編集後記

今年の夏は、久しぶりに発熱しました。8月第1週、連日、コンペティションの本選に子どもたちを送り出し、精神的にも緊張が続いていたことで、自分の体力の限界に気づくのが遅れました。

39度の熱でガタガタ震えがきたのは本当に何年ぶりのことでしょう。

レッスンをお休みした8月8日レッスン予定だったみなさま、ゴメンナサイ!

「先生が熱?珍しいですね。大丈夫ですか?心配です。お大事に。」とメールを下されたみなさま、有難うございました。

また、左のようにお心遣いのお葉書も届きました。

みなさまからは、一ピアノ教師という枠を越えて、いつもお心にかけて頂き、感謝しております。今後は、自分の年も考えて、無理をしないように心がけます!

みなさまも、まだまだ暑さが続きますので、お身体をお大事に♡

